

塵芥容れ

出願 昭 37-23440
 出願日 昭 37. 5. 4
 考案者 出願人に同じ
 出願人 滝沢浩一
 同 東京都板橋区南常盤台2の24
 長島英雄
 東京都板橋区富士見町30
 代理人 弁理士 樺沢義治 外1名

図面の簡単な説明

第1図は本案品の袋体の斜面図、第2図は本案品の一部を切欠いた正面図である。

考案の詳細な説明

本考案は塵芥容れに関するもので、上縁を懸架して支枠A等に支持させるポリエチレン製袋体1の上端開口縁部2の適当個所を縦方向に僅少幅に折畳んで、上部3を溶着した摘嚢4を設けて成るものである。

しかして前記袋体1は底部に排水用小孔5を穿設する。

本考案は上述のように構成し、ポリエチレン製袋体1の上端開口縁部2に縦方向の摘嚢4を形成したから、開口縁部2のみが胴体部よりやや小径となるため、袋体1を塵芥容器に容れこの縁に袋体1の開口縁部2を折返して懸架し、または環状金属

線の枠に同様にして懸架することにより、開口縁部2よりもやや大径の開口部を有する容器または金属線枠等の支枠Aの上縁に懸架すれば塵芥の重みによつても外れるようなことが無く、しかも摘嚢4はこの上部3のみを溶着したから、この溶着上部3の下方は自在に拡開するため、開口縁部2よりやや大径の容器または金属線枠等の支枠Aに收容する場合開口縁部2のみをポリエチレンの弾力性によつてやや引伸して嵌着することにより嵌着後は溶着上部3の下方が容器または金属線枠等の支枠Aに懸架されるため、無理がかかることが無く、使用後はこれを容器または金属線枠等の支枠Aより取外してそのまま棄却することが出来るため、支枠その他を汚さずにすみ、また支枠Aから他へ移し代える等の手数を省くことも出来、さらに従来の袋口にゴム紐等を入れて収縮されたものに比し、単に開口縁部2の1、2個所を溶着するだけでよく、製作が簡単で大量生産に適し、かつゴム紐等が不要のため材料費も安価となるから使い棄てにする袋として安価に提供出来、ゴム紐が伸びたり、切断したりするおそれもないものである。

実用新案登録請求の範囲

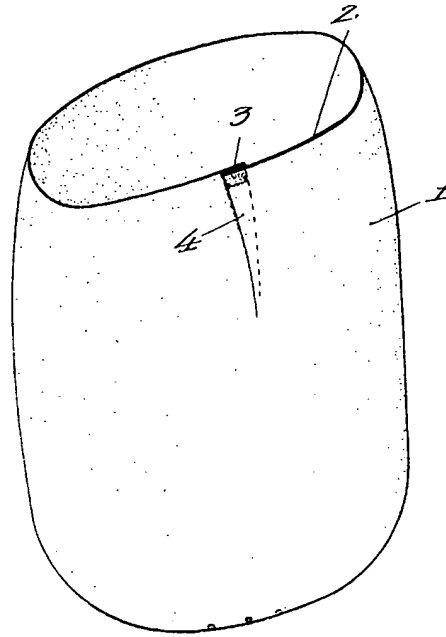
上縁を懸架して支枠A等に支持させるポリエチレン製袋体1の上端開口縁部2の適当個所を、縦方向に僅少幅に折畳んで、上部3を溶着した摘嚢4を設けて成る塵芥容れ。

(2)

(2)

実公 昭 39-5467

第1図



第2図

